

「活動」及び「参加」の評価点基準(暫定案)
(平成19年3月版)

※注意

- ICFを活用するため暫定的に設定した評価点基準案です。
- 今後、WHOにおける検討結果等によって、変更となる可能性があることについては、留意してください。
- (暫定案)は必要に応じて改正を行います。

活動の評価点基準（案）

【活動（activity）：課題や行為の個人による遂行】

- 実行状況（個人が現在の環境のもとで行っている活動や参加の状況）の評価基準
ポイント以下第一位で使用

評価点	評価	内容
0	普遍的自立	生活の場以外での環境（外出時、旅行時などにおける環境）においても自立している
1	限定的自立	生活の場（本人の状況に応じて自宅、自宅の一部、病院、施設など）およびその近辺の、限られた環境のみで自立している
2	部分的制限	部分的な人的介護（※）を受けて行っている ※「部分的な人的介護」は「見守り」「うながし」等を含む
3	全面的制限	全面的な人的介護を受けて行っている
4	行っていない	禁止の場合を含み行っていない

- 能力（ある課題や行為を遂行する個人の能力）の評価基準
ポイント以下第二位及び第三位で使用

評価点	評価	内容
0	普遍的自立	生活の場以外での環境（外出時、旅行時などにおける環境）においても行うことができる
1	限定的自立	生活の場（自宅、病院、施設など）およびその近辺の、限られた環境のみで行うことができる
2	部分的制限	部分的な人的介護（※）を受ければ行うことができる ※「部分的な人的介護」は「見守り」「うながし」等を含む
3	全面的制限	全面的な人的介護を受ければ行うことができる
4	行うことができない	禁止の場合を含み行うことができない

参加の評価点基準（案）

【参加（participation）：生活・人生場面への関わり】

- 実行状況（個人が現在の環境のもとで行っている活動や参加の状況）の評価基準
ポイント以下第一位で使用

評価点	評価	内容
0	活発な参加	常に又はしばしば、全面的な参加を実現している (人的介護の有無は問わない)(注)
1	部分的な参加	時々又は部分的な参加を実現している (人的介護は受けていない)
2	部分的制約	部分的な人的介護(※)を受けて、時々又は部分的な参加を実現している ※「部分的な人的介護」は「見守り」「うながし」等を含む
3	全面的制約	全面的な人的介護を受けて、時々又は部分的な参加を実現している
4	参加していない	禁止の場合を含み参加していない

注：ただし、頻度及び人的介護の有無等にかかわらず、高い水準での参加については評価点0とする。

- 能力（ある課題や行為を遂行する個人の能力）の評価基準
ポイント以下第二位及び第三位で使用

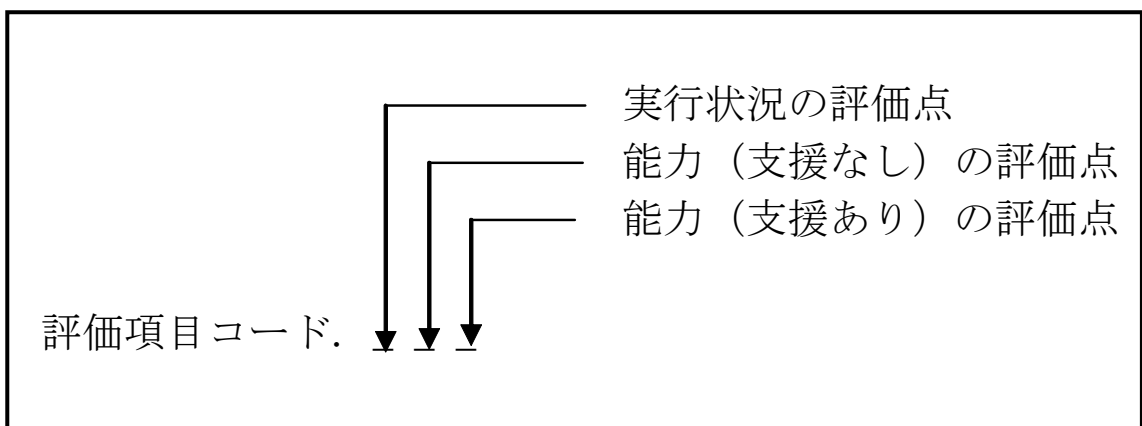
評価点	評価	内容
0	活発な参加	常に又はしばしば、全面的な参加を実現することができる (人的介護の有無は問わない)(注)
1	部分的な参加	時々又は部分的な参加を実現することができる (人的介護は受けていない)
2	部分的制約	部分的な人的介護(※)を受ければ、時々又は部分的な参加を実現することができる ※「部分的な人的介護」は「見守り」「うながし」等を含む
3	全面的制約	全面的な人的介護を受ければ、時々又は部分的な参加を実現することができる
4	参加を実現することができない	禁止の場合を含み参加を実現することができない

注：ただし、頻度及び人的介護の有無等にかかわらず、高い水準での参加については評価点0とする。

評価点をつけるに当たっての原則等

<原則等>

- ICFの活用によって、評価点をつけることそのものが重要なのではなく、「よりよい生活を送るためにどうすればいいのか」ということについて、当人、家族及び専門職種を含めた関係者の間で、気づき、考えるための共通認識を得ることが重要です。
- 各項目は、WHOが提示した定義に従ってください。項目そのものの定義については、変更して使用しないでください。
- 評価点基準暫定案は、今後、より適切な評価点基準を作成するために、策定されたものであることを念頭に置いてください。将来的な具体的目標は、以下の通りです。
 - ① 統計における活用
 - ② 使いやすい共通言語としての評価点基準の策定
 - ③ 個人の生活機能の変化の把握
- 個人の生活機能の変化を把握し、共通認識を得るためには、評価点をつけるだけでなく、当人の状況等について記載することが望ましいのではないかとこの意見があります。
- 「活動」で評価する場合も、「参加」で評価する場合も、「実行状況」、「能力(支援なし)」及び「能力(支援あり)」の3つで評価を行い、そのポイント以下の記載は以下のとおりです。



ICFを活用した「活動」及び「参加」の評価

- 何の目的でICFを利活用するのか明確にした上で、評価する目的に応じ、ICFの項目を選びます。
 - ICF「活動」と「参加」の項目参照(d評価項目コード)
 - (※ ICFの各項目の定義は、変更しないでください。)
- それぞれの項目について、「活動」で評価するか、「参加」で評価するか、または、両方で評価するか選択します。
 - ・ 「活動」: 課題や行為の個人による遂行
コード頭文字をdをaとする
 - ・ 「参加」: 生活・人生場面への関わり
コード頭文字をdをpとする
- 「活動」又は「参加」における、「実行状況」、「能力(支援なし)」及び「能力(支援あり)」について、それぞれ後述の評価点基準案を参考に評価を行ってください。(※ 評価基準点について、目的や選択した項目に応じて、より詳細な設定を行う必要がある場合には、「設定内容」、「独自の設定であること」及び「当該設定とした理由」を、明らかにしてください。)

ICFの「活動」と「参加」の項目

【活動】

表記: 「a評価項目コード. ①②③」

- ① 実行状況
→ 活動の実行状況評価
- ② 能力(支援なし)
→ 活動の能力評価
- ③ 能力(支援あり)
→ 活動の能力評価

【参加】

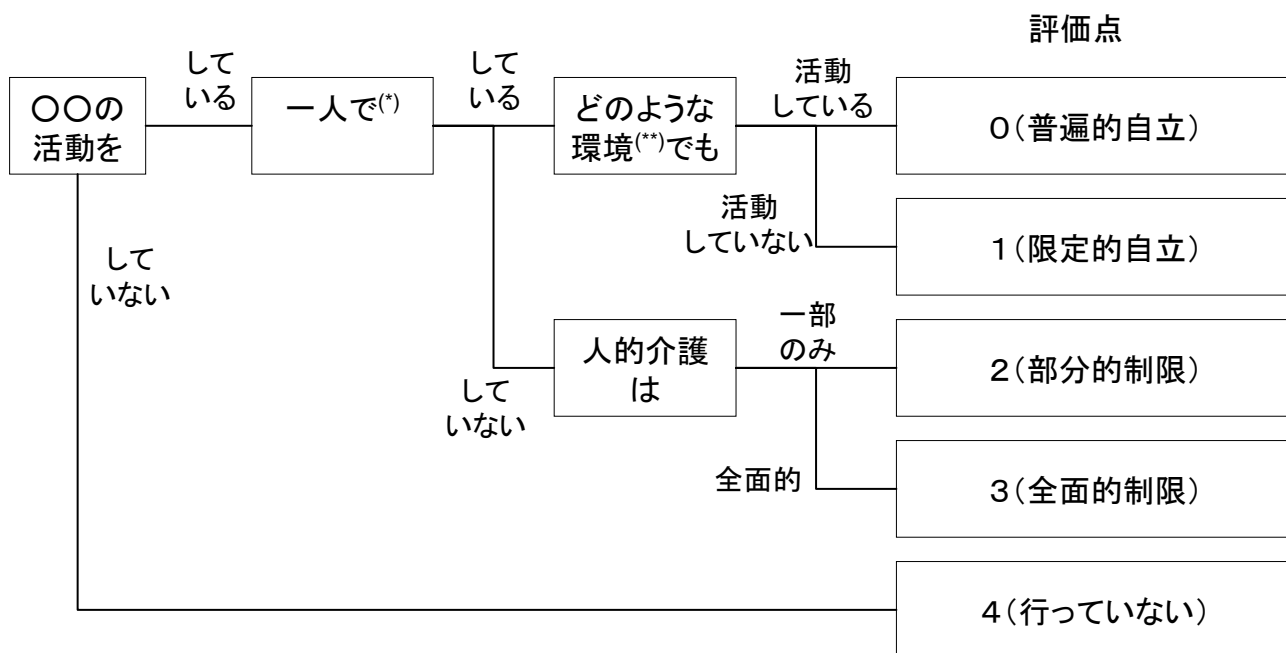
表記: 「p評価項目コード. ①②③」

- ① 実行状況
→ 参加の実行状況評価
- ② 能力(支援なし)
→ 参加の能力評価
- ③ 能力(支援あり)
→ 参加の能力評価

活動の実行状況評価点基準(案)

- ・ 活動の実行状況： 個人が現在の環境のもとで行っている活動の状況
- ・ 活動評価項目コードのポイント以下第1位で使用します。

〇〇の活動に関して



(*)見守り等が必要な場合には、一人でしていないを選択

(**)生活の場(当人の状況に応じて自宅、自宅の一部、病院、施設など)以外での環境

<使用例>

○ a4600「自宅内の移動」

→特段部屋を限定することなく自分で移動している。

a4600.0

○ a4601「自宅以外の屋内移動」

→かかりつけの病院とデイケアセンター内でのみ移動している。その他の場所には、特段行っていない。

a4601.1

○ a4602「屋外の移動」

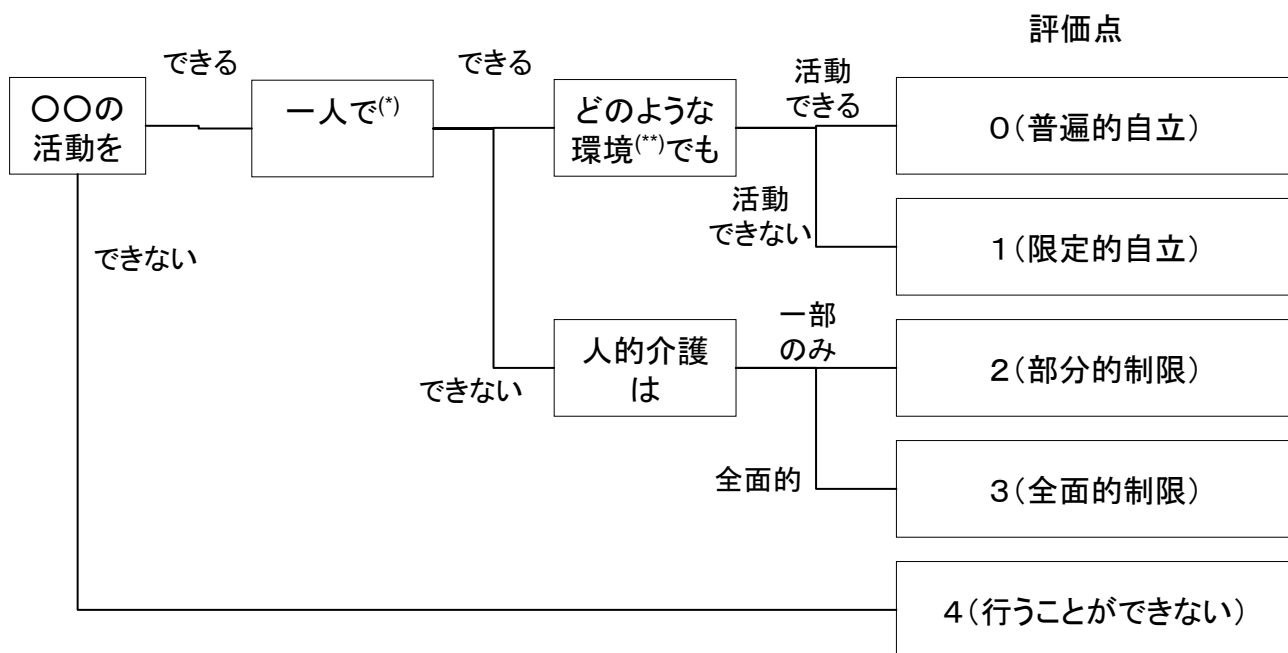
→屋外は車いすを使用しているため、地面が平坦でないところは押してもらって移動している。

a4602.2

活動の能力評価点基準(案)

- ・ 活動の能力： ある活動を遂行する個人の能力
- ・ 活動評価項目コードのポイント以下第2位(用具等の支援なし)または第3位(用具等の支援あり)で使います。

〇〇の活動に関して(まず、用具等の支援なし/用具等の支援あり を決定)



(*)見守り等が必要な場合には、一人でしていないを選択

(**)生活の場(当人の状況に応じて自宅、自宅の一部、病院、施設など)以外での環境

<使用例>

○ a4600「自宅内の移動」

→杖や車いすなどの用具を使わなくとも、特段部屋を限定することなく自分で移動できる。 a4600.000

○ a4601「自宅以外の屋内移動」

→室内移動は行うことができる。かかりつけ病院やデイケアセンター内であれば、用具がなくても移動できるが、初めての場所では、移動できない。車いすがあれば、屋内移動に特段制限はない。 a4601.110

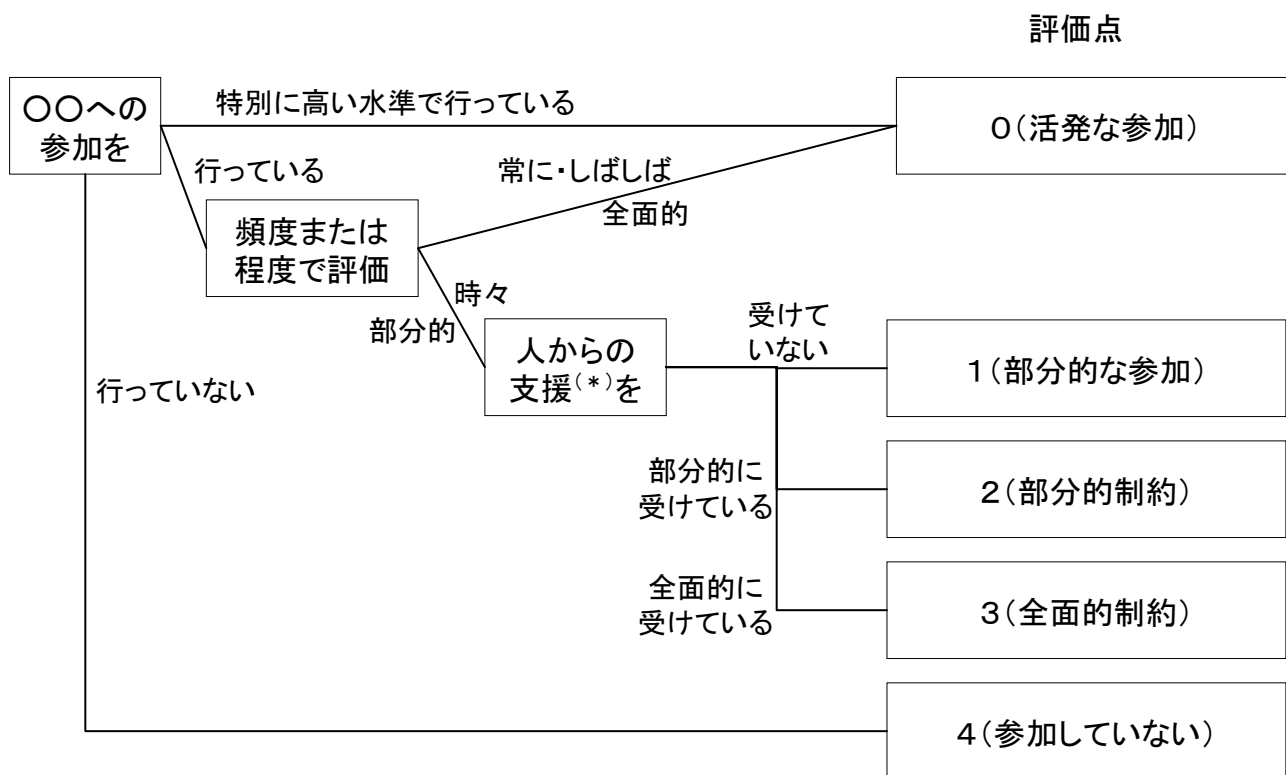
○ a4602「屋外の移動」

→屋外で用具なしでの歩行は、寄りかかるところがないため、誰かが見守り、時に支えなければできない。車いすがあれば、時間はかかるものの特段制限はない。 a4602.220

参加の実行状況評価点基準(案)

- ・ 参加の実行状況： 個人が現在の環境のもとで行っている参加の状況
- ・ 参加評価項目コードのポイント以下第1位で使います

〇〇への参加に関して



(*) 人からの支援: 見守り等を含む。

<使用例>

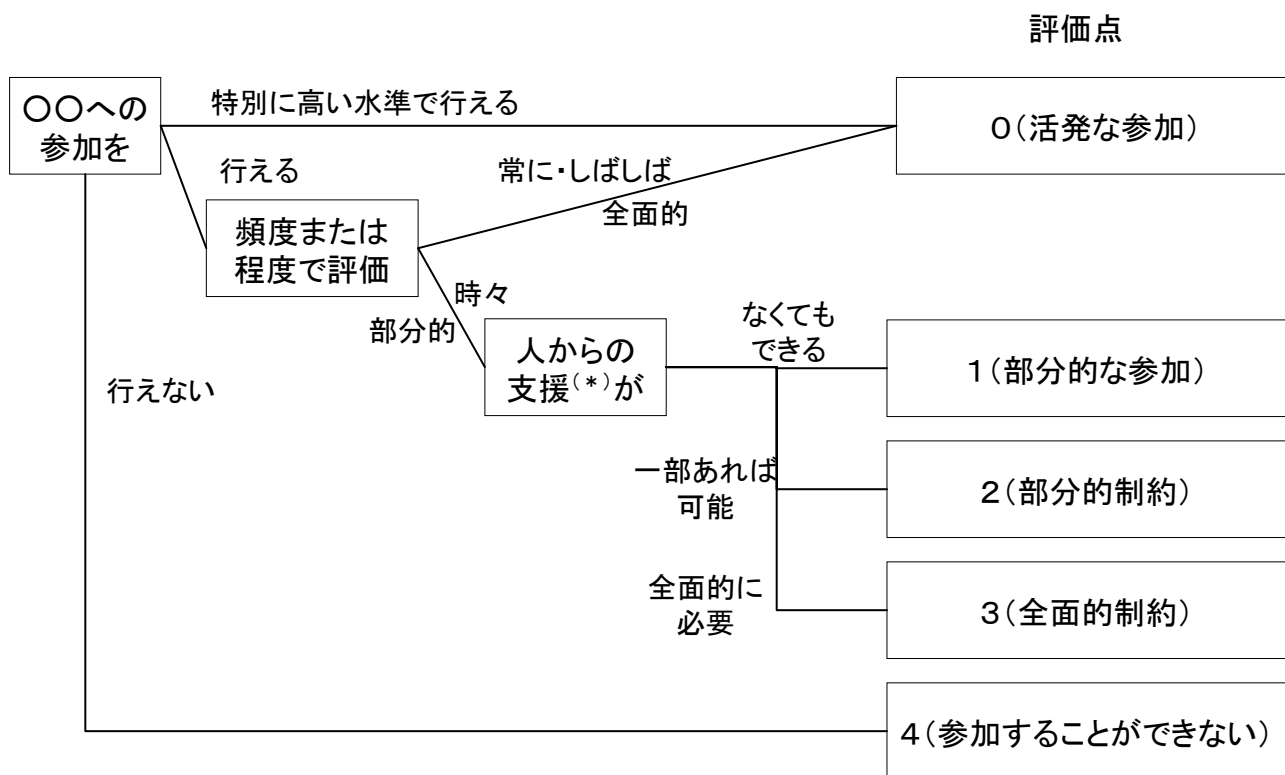
- p850「報酬を伴う仕事」
→ 非常勤として月に2回程度、仕事を行っている。 p850.1
- p855「無報酬の仕事」
→ ボランティア活動において、グループリーダーとして指導的立場で働いている。 p855.0
- d9100「非公式団体」(*)
→ 社会的なクラブに、メンバーとして定期的に参加している。 p9100.0

(*) この項目は、共通の興味を持つ人々によって組織されたものという意であり、d9101「公式団体」(専門家の資格等によってメンバーが限定されている団体)の対になる。

参加の能力評価点基準(案)

- ・ 参加の能力: ある参加を遂行する個人の能力
- ・ 参加評価項目コードのポイント以下第2位(用具等の支援なし)または第3位(用具等の支援あり)で使用します。

〇〇への参加に関して(まず、用具等の支援なし/用具等の支援あり を決定)



(*) 人からの支援: 見守り等を含む。

<使用例>

- p850「報酬を伴う仕事」
→ 仕事を行うことは可能。特段用具は不要。 p850.100
- p855「無報酬の仕事」
→ 現在、行っているボランティア活動は、長距離移動が必要であり、車いすがなければ、行うことが出来ない。 p855.040
- d9100「非公式団体」(*)
→ 社会的なクラブに、メンバーとして定期的に参加している。特段用具は不要。 p9100.000

(*) この項目は、共通の興味を持つ人々によって組織されたものという意であり、d9101「公式団体」(専門家の資格等によってメンバーが限定されている団体)の対になる。

ICF 評価点使用例

目的： 個人の生活機能の変化を、本人を含めた関係者で共通認識として把握し、活動や参加における目標を設定すること
評価点： 評価点基準暫定案平成19年3月版を使用

40歳男性 A さんのエピソード

- 昨年、バイクで転倒し、脊髄損傷と診断された。
 - 入院してすぐ、本人、家族、医師及び看護師等が合同で話し合いを行っている。
 - 医師らは、A さんに対し、生活機能のすべての側面に働きかけることの重要性について説明し理解を求めた。具体的には、心身機能の低下（A さんにとっては下半身の麻痺）に対する治療と、訓練によって活動制限の改善を図り、生活や人生の色々な場面へ関わっていくことについて説明した。
 - A さんのけがをする前の活動の様子を聴き、また、A さん・家族が退院したら、どのような生活をしたいのか、できるはずがないと思わずに言ってもらい、希望を確認した。
 - 医師らは A さんにできる活動（訓練時の能力）を説明し、活動や参加についての目標を共同で決定した。
- (1) 会社勤務。テニスが好きで、仕事を終わると、毎日のようにテニスを行っていた。
 - (2) 平成〇年×月△日、バイク運転中に転倒。
そのまま病院に入院となり、脊髄損傷と診断された。下半身の麻痺となった。入院時、立ち上がることもできなかった。
 - (3) 退院時、歩くことはできなかったが、訓練により、用具を使用し立ち上がることはできるようになった。

- (4) 仕事は元々デスクワークであったため、もしできることなら戻りたいと考えていた。訓練を続けるうちに、人の介護を受けて、短距離歩行ができるようになった。
- ・ 会社側から、車いすで対応可能な職場環境の整備を行いたいと提示があった。
 - ・ Aさんは、車いすでテニスができることを知らなかったが、車いすでテニスができることを知り、調べてみたところ、車いすテニスクラブが近くにあることが分かった。
- (5) 会社に復帰できることとなった。テニスクラブに通い、車いすテニスを行うようになった。この頃には、短距離歩行について、用具を用いての歩行は完全に可能となっていた。

【評価点】

- (1) p850 「報酬を伴う仕事」→「参加」で評価
- ・ 実行状況及び能力は「活発な参加」 p850.000
- a9201 p9201 「スポーツ」→「活動」及び「参加」で評価
- ・ テニスに対する「活動」について実行状況及び能力は「普遍的自立」 a9201.000
 - ・ 「参加」については、地域のテニスクラブに所属しており、活発な参加」 p9201.000
- (2) a4104 「立つこと」→ 「活動」で評価
- ・ 急性期には、全く何もできない状況であった。 a4104.444
- (3) a4104 「立つこと」→ 「活動」で評価
- ・ 実行状況は人からの見守りが一部必要であったため「部分的制限」、能力（用具なし）としては「部分的制限」、能力（用具あり）としては、医師の診断として、可能とのことであった。 a4104.220
- a4500 「短距離歩行」→ 「活動」で評価
- ・ 用具がなければ「全面的制限」。能力（用具あり）としては、医師の診断として、可能とのことであった。 a4500.430
- (4) p850 「報酬を伴う仕事」→「参加」で評価
- ・ 能力はあるものの、この段階での参加は実現できていなかった。

p850.400

- a4500 「短距離歩行」 → 「活動」 で評価
 ・ 人からの介護を受けて行うようになった。 a4500.230

- (5) p850 「報酬を伴う仕事」 → 「参加」 で評価
 ・ 会社に復帰した。 p850.000

- a9201 p9201 「スポーツ」 → 「活動」 及び 「参加」 で評価
 ・ テニスに対する「活動」について実行状況は「普遍的自立」、ただし、車いすがなければ、行うことが出来ない。 a9201.040

- ・ 「参加」については、地域のテニスクラブに所属しており、「活発な参加」を実現している。 p9201.040

a4500 「短距離歩行」 → 「活動」 で評価 a4500.030

【Aさんの生活機能の変化の推移】

(評価した項目の一部をまとめたもの。)

◆活動

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
a4104 「立つこと」	.000	.444	.220	.020	
a4500 「短距離歩行」	.000		.430	.230	.030
a9201 「スポーツ」	.000				.040

◆参加

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
p850 「報酬を伴う仕事」	.000			.400	.000
p9201 「スポーツ」	.000				.040